



方面総監統率方針
任務完遂

発行所

〒664-0012 兵庫県伊丹市緑ヶ丘7-1-1
電話：0772(782)0001

陸上自衛隊

中部方面総監部広報室

災害派遣

新型コロナウイルス

災害派遣等を実施

教育支援及び輸送支援を実施



消毒要領について教育する隊員

第3師団（師団長 梶原陸将）、第10師団（師団長 鈴木陸将）及び第13旅団（旅団長 山根陸将補）は、県知事の要請により、新型コロナウイルス市中感染拡大防止のための災害派遣として、感染防護等に関する教育支援及び輸送支援を実施した。

災害派遣

山林火災（兵庫県・朝来市）

第3師団（師団長 梶原陸将）は、5月8日（金）午後11時、兵庫県朝来市で発生した山林火災に對する、兵庫県知事からの災害派遣要請を受けた。

第3師団は、中部方面航空隊の支援を受け、第3飛行隊のUH-1×2機及び中部方面航空隊のCH-47×1機による26回（延べ80t）の空中消火活動により鎮火に寄与し、5月11日（日）午後2時40分兵庫県知事からの撤収要請を受けて、同活動を終了した。



CH-47による空中消火活動

感染拡大防止 教育資料について

中部方面隊公式ホームページ上に新型コロナウイルス感染拡大防止のための教育資料を掲載しました。ご活用いただき、感染拡大防止の一助となれば幸いです。



中部方面隊公式HP QRコード

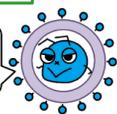


中部方面隊公式ホームページ上の「新着情報」欄から「新型コロナウイルス感染防止教育資料を更新しました」をクリックして下さい。

感染対策のまとめ（1/2）

感染場所を広げるためにウイルスに与えられた条件

- ① 自分で動くことはできない。
- ② 体の中の決まった場所にたどり着かなければ、感染できない。



気道や肺につながっている
口や鼻からウイルスは出てくる。



本来任務遂行のための訓練等の継続

— 三密回避に留意 —

中部方面隊（総監 野澤陸将）は、新型コロナウイルス市中感染拡大防止のための災害派遣のほか、三密の回避に留意しつつ、我が国を防衛するための任務に即応できるよう、訓練・業務を継続している。



マスクを着けて
ロープの結束を演練する隊員



マスクを着けて
訓練に参加する隊員



食堂では間隔を保ちつつ一度に
食事する人員数を制限



間隔を保って朝礼を実施



89式小銃の射撃

春に入隊した約2,100名の候補生は一人前の自衛官となるべく、基本教練、体力練成から戦闘戦技等、数々の訓練をこなしている。彼らが見据えるものはただ一つ、一人前の自衛官となり、国民の期待に応えること、その一点である。

候補生 自衛官を目指し、着々と訓練

新隊員教育



射場への前進



催涙ガスの体験

新型コロナウイルスの影響により6月も引き続き中止

イベント等中止状況

中部方面隊（総監 野澤陸将）は、新型コロナウイルスの拡大に伴い、4月、5月に引き続き、来賓や部外者が参加する行事の中止を決定した。

今後の行事等の開催については、ホームページまたは問い合わせ先へ確認ください。

実施日	行事名	問い合わせ先	開催状況
6月5日（金）	中部方面音楽隊 定期演奏会	中部方面総監部広報室 072-782-0001	中止
6月6日（土）	和歌山駐屯地 創立記念行事	和歌山駐屯地司令業務室 0738-22-2501	中止
6月6日（土）	第10音楽隊 第44回定期演奏会	第10師団広報室 052-791-2191	延期 (9月または10月頃)
6月7日（日）	高知駐屯地創立52周年 及び第50普通科連隊創 隊12周年記念行事	第50普通科連隊広報室 0887-55-3171	中止
6月13日（土）	陸上自衛隊第13音楽隊 コンサート in くらら	広島地方協力本部広報室 082-221-2958	中止
6月14日（日）	第14旅団創隊14周年 及び善通寺駐屯地開 設70周年記念行事	第14旅団司令部第1部 0877-62-2311	中止
6月16日（火）	安佐南防災フェス！ 2020	広島地方協力本部広報室 082-221-2958	延期 (9月)
6月下旬	地域住民との交流行事	伊丹駐屯地司令業務室 072-782-0001	中止

中方オピニオンリーダー

陸上自衛隊中部方面隊

オピニオンリーダー



高橋 宏輔

子どもたちと積極的な交流機会を

まずは、コロナウイルス影響下で、訓練も活動も制限されている中、常に日本国民のため災害派遣要請に応え、日々活動されております自衛隊員の皆様へ、日本国民の一人として、心から感謝と尊敬を申し上げます。

私は新聞社で子ども向けの教育紙を12年間、担当しております。オピニオンリーダーは、平成29年新聞社の身分で、大学院にて教育学研究をしていた時にご推薦を頂き、謹んでお受けしました。そんな私に、どの陸上自衛官の方々も「自衛隊を美化も卑下もしなくて良い。ありのまま伝えてほしい」と常に熱く申してくれます。これは陸上自衛隊の教育が、中庸を取れている賜物かと思えます。

自衛隊同様、学校教育も中庸を求められます。私は、もっと積極的に学校などと交流し、中庸の取れた陸上自衛隊の活動に対する、より深い理解と、使命感を子どもたちへ伝える機会を増やす時だと思えます。自衛隊は国防が第一である故、一般の企業や学校に比べ、心身ともに強い覚悟が必要かと思えます。しかし、自衛隊員の使命感を持って粛々と災害派遣活動を行う姿に共感し、憧れを持って「将来、私も自衛隊員になりたい」という子どもをたくさん見てきました。使命感や憧れは覚悟を乗り越える一助だと考えます。

ふあみさぼ通信 (連載：第42回)

出雲駐屯地業務隊

出雲駐屯地業務隊は、島根県全域を担当地域として、関係部外団体（島根県家族会・島根県隊友会）と連携した家族支援施策に取り組んでいます。

定期的に開催される家族会との会同には、自衛隊島根地方協力本部・業務隊厚生班の家族支援担当者が参加して、施策について直接家族会会員へ説明して、認識の共有と情報交換等を通じて綿密に連携を図っています。

一方、駐屯地所在隊員には、関係部外団体の協力による隊員家族の安否確認施策について周知徹底できていませんでした。このため、マッチングや事前の顔合わせもスムーズに進まないため、令和2年2月の南海レスキュー訓練に併せて業務隊長から駐屯地所在各部隊長等に対し、家族支援パンフレットにより施策を説明し、各隊員への理解の促進を図りました。

さらに、訓練に併せて緊急登庁支援訓練を実施しました。これにより、子弟名簿を細部最新の情報に整備し、子弟を預ける隊員と開設施設の安全性を確認でき、入浴時の段差をなくすための足台を作成する等、隊員が任務に邁進できる実効性ある態勢を構築しました。



緊急登庁支援訓練 (2月)

今後、駐屯地所在部隊・隊員へ本施策の普及を図るとともに、更なる家族支援施策推進のため、関係部外団体との連携強化に努めていく所です。

俺を見ろ



第10通信大隊
(守山駐屯地)
1等陸尉
西本年男

第10通信大隊第一中隊長を拝命し、一年半になるうとしています。

中隊長に着任した当初は、中隊長は何をすべきか？どうすれば士気の高い部隊ができるのか？と自問自答を繰り返しながら訓練等を実施してまいりました。その中で導き出した答えの一つとして、中隊が積み重ねてきた伝統と歴史を遺憾なく発揮させ、新たな伝統を築きあげる事、また原動力となる隊員の継続的な確保が大事なのではないかと考えました。中隊長は、2、3年のサイクルで交代します。中隊の伝統の継承者となるのは、部隊に所属する陸曹や陸士の隊員です。その隊員が、「隊員主導」で行動できるような環境を構築することが、中隊が士気高く、強固な団結を持つて行動するための原動力ではないのかと思いました。私が中隊長に着任した際、すでに定年退官された尊敬する先輩から「何事も隊員主導でやること。」と言葉を頂きました。この言葉の意味が少し分かった気がしました。

また、中隊の原動力となる隊員確保において、ハイスクールリクルータや地方協力本部への積極的な業務支援及び隊員による自主募集意識向上のための教育・指導等により昨年度合計17人の部隊の原動力確保を実現しました。

最後に、「隊員主導」となる環境の醸成及び私の下番後も伝統の継承者として隊員が活躍できる基盤作りを今後の目標とするとともに、継続的な隊員の募集・育成による原動力確保を隊員と共に頑張っていく所存です。

うちのご飯

「久居駐屯地」



久居【勝利】の勝つかレー

久居駐屯地では「日本一の食堂」をスローガンに、日々美味しい食事の提供に取り組んでいます。

駐屯地には「久居めし」という、給食委員会の場を活用して開発したオリジナルのメニューが2種類あります。一つ目が33鷹の油麵というラーメン、二つ目が今回ご紹介する「久居【勝利】の勝つかレー」です。とんかつの「かつ」と勝利の「勝」で語呂合わせのネーミングとなっており、各種の訓練や競技会での「勝利」を願う意味が込められています。

隠し味に鶏がらスープやんにく、三重県のご当地グルメである四日市とんてきのたれを使用することで三重県ならではの工夫を加えています。ご飯は麦ご飯、またはガーリックライスを選択することができ、疲労回復効果のあるビタミンB1を豊富に含んだ豚肉、そのビタミンB1の吸収を高めるアリシンがたっぷり含まれるにんにくを使用しており、活量の多い自衛官にぴったりのカレーです。当駐屯地にお立ち寄りの際はぜひご賞味ください。

かわらぬ★ファミリー



第14施設隊
(徳島駐屯地)
士長 森東 汀

私は、平成28年4月に自衛官候補生として入隊しました。現在は徳島駐屯地の第14施設隊に所属し、徳島駐屯地は他の駐屯地と比べるとそれほど広い駐屯地ではなく、所属する他の隊員ともすぐに交流を深めることができました。これまで5年間勤務しましたが、人見知りだった私もこの環境のお陰でたくさんの方と話せるようになり、他の隊員と家族のような存在になることができました。

今、私は陸曹候補生試験の真只中です。もう4回目の受験ですが、時に不安を感じればそうなることがあります。そんな時、部隊の皆さんは私を励まして下さり、支えてくれています。私を応援してくれる上司、先輩、同期の為に、陸曹になって恩返しをしたいと考えています。

第14施設隊で多くの方々に支えられ、本当に私は幸せ者だと思えます。精一杯、頑張ります。



趣味の読書